



# 實性

令和五年 第二号 春彼岸発行

## 春のお彼岸のご案内

お彼岸の由来

新型コロナウイルスの終息がみえてきたようですが、「暑さ寒さも彼岸まで」という通り、朝夕暖かさが感じられるようになったこの季節、春のお彼岸を迎えます。

春のお彼岸は、春分の日（お中日）を中心とした一週間をさしますがそもそも彼岸とは、「彼岸」かきしと書くように、私達の住む世界（此岸）しがんと相對する極樂浄土を意味します。

『観無量寿經』くわんむりょうじゆきやうには、「日想観」にっそうくわんといって、夕陽を見つめて、その先にある極樂浄土を思い浮かべるといふ仏道修行が説かれます。この修行の最も適している日が、お日様が真西に沈む「春分の日」であることから、この時期に、先立った先祖を供養する「お彼岸」として定着したものです。

寒さの中にも春の足音が聞こえ始めるこの季節。お彼岸には、今日ある自分を育ててくれたご先祖様への感謝、先立った方々へのご回向の為にも、真心のこもったお念仏をお唱えしましょう。

## 彼岸会法要

● 三月二十一日（火・祝日）お中日

午前十一時より

● 法要は午前十一時に開始致しますので、少々早めにお出掛け下さい。

開始前に法話をさせていただきます、献花後、各々お塔婆をお持ちになられ、お墓参りをしていただく予定です。

オミクロン禍においてのこと、何卒皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

● お彼岸入り 三月十八日（土）

● お彼岸中日 三月二十一日（火・祝日）

● お彼岸明け 三月二十四日（金）



## 廻向(回向)とは

人間が善い行いをする、善い結果をもたらす、悪い行いをする、悪い結果をもたらすという業報の観念は、仏教だけではなく、数多くの宗教の倫理を支配した原理としてあります。

「廻向」とは、その善き結果を他にめぐらし転じておよぶことなのです。

仏教においては、また、「般若経」に、廻向の思想によって倫理、布施や道徳などの善根、つまり幸福の原因となる行為を転換させ、ふり向けることができ、方向転換して発展させることを「廻向」と解いています。

私共が、仏様に対する行為、すなわち、手を合わせること、お念仏を唱えること、教を読むこと、塔婆を供えること、花をお供えすることなど、仏様に奉仕すること全てが、ご利益、功德となつて自分にもどつてきます。

これが「廻向」と「利他」となります。お墓参りの折りにも、先ずご本尊様に手を合わせ、ご利益をいただき、そのご利益を墓所にむかいご先祖様にふり向けぬいふくを祈ります。この感謝のお墓参りののち、お帰りに、ご自身の為のご利益すなわち「自利」の御礼、また、他の人の為のご利益「利他」の御礼の一札をします。

なかなか出来ないお寺参りかもしれませんが、このような「廻向」のお墓参りをしたいものです。

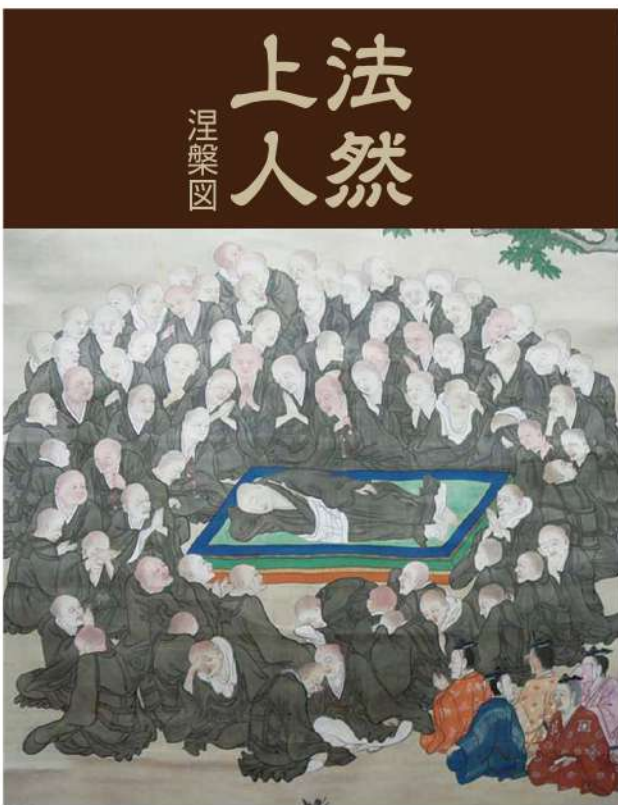


## 法然上人涅槃図

一月二十五日は宗祖法然上人の御命日です。各総本山では四月に忌日法要厳修されます。この法要を「御忌」と読みます。法然上人のみに許された読みかたです。

左図の「法然上人涅槃図」は、法然上人の入滅の時が描かれています。

大勢の弟子にかこまれ、合掌なされ、「南無阿弥陀仏」のお念仏を弟子と共に唱えられながら念仏往生なされました。

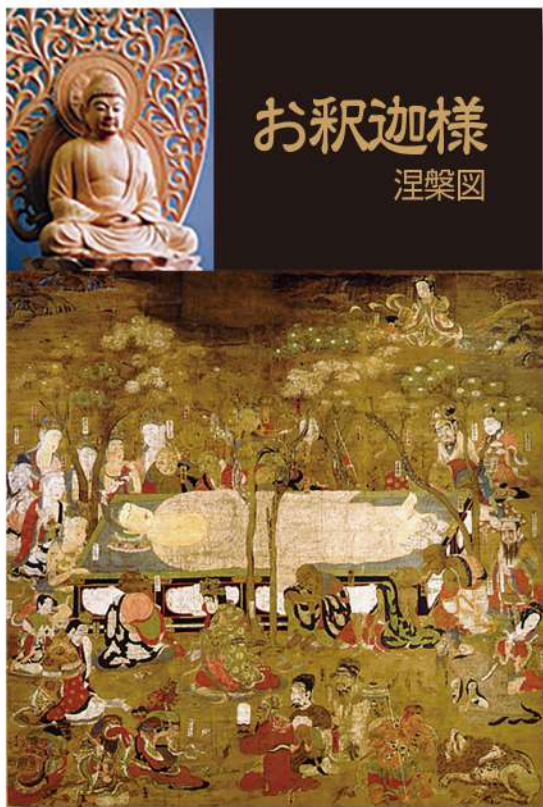


# 法然上人

涅槃図

二月十五日は、お釈迦様の亡くなられたご命日です。左図の涅槃図は、お釈迦様の入滅のご様子が描かれています。

お釈迦様は、伝道の旅の途中、病にたおられ、自ら死期を悟られ、沐浴をされ、沙羅双樹の林の中に横たわれ、最後の説法をなされ伝道のました。頭を北に、顔を西に向け、十代弟子、老若男女、鳥獣たちさえも嘆き悲しむ様子、また、忉利天より駆けつけられたお釈迦様の母君、マヤ夫人の姿も描かれています。



令和五年度「修正会」は、昨年度に続き、新型コロナウイルスの影響により、住職・副住職・寺族のみにて厳修致しました。

「御札」「お守り」「絵馬」等を祈願致しました。



850 years of the founding of the Jodo sect



法然上人  
**浄土宗**  
 開宗850年  
 お念佛からはじまる幸せ  
 令和6年

法然上人が浄土宗を開かれたのは、平安時代も終わりの一一七五年。もうすぐ開宗八五〇年です（二〇二四年）。

左のイラストは、法然上人のお姿をシルエットにした八五〇年のシンボルマーク。開宗八五〇年のキャッチコピー「お念佛からはじまる幸せ」の凶案化募集し六〇一点の中から決定しました。

このキャッチコピーとシンボルマークを用いて浄土宗では様々な事業を企画しています。

今年も境内に紅白の梅が咲き始めました。これからの季節多くの花が咲きますのでお楽しみ下さい。



水仙

赤梅

白梅



四月八日(土)は、お釈迦様がお生まれになられた誕生日です。  
かんぶつえ  
「灌仏会」といいます。お釈迦様の誕生をお祝いし、誕生仏に  
甘茶をかけお祝い致しましょう。

お彼岸より本堂前(御拝)に花見堂が出ております。どうぞ  
お参り下さい。

(お参りいただいた方に甘茶ティーバックを差し上げています)

## 四月八日は お釈迦さまの 誕生日



## 節分会

二月三日節分に、毎年床の間に掛けます「掛け軸」をご紹介します。  
します。この画讃は、釜師 長野埴志師が描かれたものです。

恐ろしや  
かぞえも  
ゆかぬ  
まめのかづ



と讃があります。年の数だけ豆を食べるのは  
少々大変となりました。(笑)

## ●《駐車場整備》

お檀家様より「駐車場に止めにくい」「駐車場に白線を引いて欲しい」「後ろの垣根を短くして欲しい」との要望がたくさん届いておりましたが、令和二年、三年、四年の皆様「仏具料」をあて整備致しました。

もともと駐車スペースが少なく、ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。



## ●《墓地・境内の清掃》

墓地・境内の清掃は、住職はじめ寺族にてお努めしていますが、なかなか行き届かず、昨年より足立区シルバー人材センターにお願いし、週二日お手伝いしていただいております。また、今般、古いお塔婆を一齐に回収させていただきましたので、ご理解下さいますようお願い致します。



◆ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くても十日前迄にお申し込み下さい。お電話よりファックスの方が正確ですのでご利用下さい。

ファックス番号 03(3883)3227

振替口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七-十八  
電話 03(3883)8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jisyoji.com>